

行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 21 年 7 月 1 日 提出]

No.	22	実施済み						
基本方針	1 財政の健全化					担当課名	財政課	
重点項目	2 歳出削減に向けた主要な取り組み (5) 公債費の抑制							
取組項目	21 償還期間の延長							
経過・現状 (H17.4.1現在)	借換債について下記の内容を検討。 ・借換の対象とする起債の選択(発行額) ・時期と手法							
推 進 スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 18 年度	
	検討	実施	-	-	-			
実績評価	A	A	-	-	-	達成年次	平成 18 年度	
	計画どおり	計画どおり	-	-	-			
行動概要	目標	償還期間の延長						
	期待される効果	・公債費の平準化、特にH18～21の公債費負担の軽減を図る。						
	必要性 問題点	・公債費負担の累増を緩和し、平準化するため借換債の発行が必要。						
	対象	政府資金						
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計(0 千円)	
		17年度 (実績)	・財政健全化計画の借換債発行予定額; 8,831,700千円				目標 数値	
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)
	18年度 (実績)	・借換債を発行し、平成18年度以降の公債費の平準化に努めた。 ・借換額; 4,064,400千円 ・借換時期; 9月末 ・H18～H25の8年間は公債費支出が抑制されるが、全体としては、公債費支出が増加する。 [抑制額; 1111,561千円、増加額; 522,180千円]				目標 数値	効果額については、NO.19に計上	
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)
	19年度 (実績)					目標 数値	効果額については、NO.19に計上	
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
20年度 (実績)					目標 数値	効果額については、NO.19に計上		
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
21年度					目標 数値	効果額については、NO.19に計上		
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
関係例規等	名称					改正時期		